2022～2023　会　報　ＲＩ第2720地区

Rotary

The Hitoyoshi Rotary

人吉ロータリークラブ

通 算 ３１３３ 回
２０２２年８月２６日
第 ６ 回 例 会

IMAGINE ROTARY

2022～2023年度 ＲＩ会長
ジェニファーE.ジョーンズ

人吉市九日町30・清流山水花 あゆの里 ☎㉒2171　例会場　事務局　清流山水花 あゆの里内 ☎㉔6665 ㊫㉔6505

人吉ロータリークラブ ホームページ　フェイスブックページ　[E-mail] hitoyoshi-rc@mocha.ocn.ne.jp

2022～2023年度 人吉ロータリークラブテーマ
ロータリーを機会と捉え、その機会により未来を拓く

本日の例会

国歌斉唱・Ｒソング斉唱

来訪者紹介

会長の時間・幹事報告

出席率報告・2021-2022年度出席率100％表彰

ゴルフ愛好会表彰・会務報告

新会員卓話

寄付カード

点　鐘　　青木一幸 会長

歌　唱　　ｿﾝｸﾞﾘｰﾀﾞｰ 竹長一幸 委員

国 歌　「君が代」
Ｒ Ｓ　「それでこそロータリー」

司会・進行　　ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ　小笠原賢治 委員長

会長の時間

会長　青木一幸

皆さん、こんにちは。本日のお食事は、軽食のおにぎり弁当と食後のコーヒーという形式といたしました。同じような形式は、あゆ里のこの会場が使用できない時期に自動車会館で例会を行う際に何度か採用をいたしました。

先週もお話しましたが、予算組みが厳しい中、今年は試行的にこうした簡易な食事を年間で８回ほど組み入れてみようと計画をしているところですので、宜しくご理解いただきますようお願いいたします。

さて、先週の水曜日（１７日）に、兵庫県の豊岡ロータリークラブの青少年奉仕委員長と、豊岡のインターアクトクラブがある豊岡総合高校のインターアクトクラブ顧問の先生の二名が人吉にお越しなりました。私と幹事、それに本田会員と伊久美会員の４名で応接をいたしましたが、要件はと言いますと、豊岡ＲＣの７０周年記念事業として、来年１月６日～８日にロータリアン４名程度、ＲＡＣが７名程度、インターアクトと先生が１０～１２名程度、計２１～２３名で、「命を考える研修ツアー」と題して、知覧～人吉球磨～熊本市内の工程でこちらにこられるということで、その事前視察に来られました。特に人吉球磨では、２年前の水害の被災状況を視察したり、ひまわり亭さんでの「命の食」の活動についてのビデオ鑑賞や実際にそうし被災時に役立つ食事づくりを体験したいということで、そのプログラムについて詳細を本田会員を交えすり合わせしたということでありました。

また１月６日は人吉ロータリークラブの新年会の日ですが、コロナの状況次第ではありますが、ロータリアンとアクトメンバーは例会および新年会にも参加し、懇親の場を持たせていただければとのことでしたので、私としては、例会は当然のこと、新年会についても理事会でのご承認を得た上で参加いただこうと思い、前向きにお返事をしたところであります。

青少年奉仕委員長とはこの記念事業の話の他にも、豊岡ＲＣでの青少年奉仕の状況について概略を聞くことができましたが、その話が大変興味深い話でしたので、この場でも少し皆さんにお話ししたいと思います。豊岡ＲＣでは、ＲＡＣ、ＩＡＣ、ＲＹＬＡなどの青少年育成に年間でかなりの予算を組んで支援されているとのことでした。中でもＩＡＣは昨年まで３０名ほどの在籍者がいて、今年の春の卒業後でも現在１４名のメンバーが在籍しているということで年間に相当の金額の予算を組んでいるとのことでした。
また今年、ＩＡＣ出身者の一人が初めてＲＡＣに入会してきたということで感慨深いものがあるとも話をされていました。

そしてその青少年奉仕の予算はほとんどはニコニコ

等を財源とする特別会計で賄っているとのことでした。これは一般会計もそうした傾向があるとのことでしたが、社会奉仕活動をある種のメリハリをつけて青少年奉仕にかなりウェートをかけておられるとのことでした。ちなみに、我が人吉ロータリークラブでは、特別会計の支出の約半分は毎年某積立金にあてていますので、豊岡ＲＣさんのような予算組みはにわかには難しいというのが現状です。

もっとも我がクラブと兵庫のクラブとでは会員が負担する年会費も違うでしょうから、一概に単純比較はできませんが、ただ、豊岡ＲＣさんのお話を聞いて、クラブとしての活動の軽重をつけながら対外的なインパクトを与えるといった方向性、クラブの在り方というのも、以前のような会員増が難しくなる中、今後は一つの選択肢としては有りなのかなという印象を率直に持ったところでした。

既にご連絡をしておりますが、来月の９日は月見例会は中止となり、代わりに昼間の例会を自動車会館で行うこととなっておりますが、折しもその例会では、出前セミナーとして地区の方から、他クラブのいろんな社会奉仕活動の事例をお話いただく予定としております。先週の戦略計画の話とも関連しますが、今後のクラブの活動のビジョン（方向性）を考える上でも、今回の豊岡ＲＣさんの話と同様、参考になること大とお思いますので、皆さんご多忙中とは思いますが、宜しくご参加いただきますようお願い申し上げます。
以上で、会長の時間を終わります。

幹事報告

幹事　加登住　亮

≪8/22持ち回り理事会承認事項≫
9月9日(金)月見例会変更の件
コロナ感染者数が収まらない状況にあるため、宴会の実施は取り止めとし、例会を昼時間へ変更します。
予約の都合により人吉球磨自動車会館へ会場を変更します。

≪報告事項≫
・第20回記念ロータリー全国囲碁大会のご案内
　日時;2022年11月5日(土)10:00開会
　会場；東京市ヶ谷　日本棋院本院1階対局室
　主催；ロータリー囲碁同好会
　参加料；7000円（昼食代、賞品代等含む）
　申込締切日；10月28日(金)
・2022-23年度世界ポリオデー募金活動のご案内
　回覧します。
・(公財)米山梅吉記念館より館報(秋号) 回覧します。

○例会変更のお知らせ
・八代東RC　9/1夜例会のため18：30～ホワイトパレス
　〃　9/8見学例会　エコエイトやつしろ環境センター

○今後の例会予定
9/2　球磨地域振興局長卓話、前年度会計監査報告
9/9　例会（自動車会館）
　　地区社会奉仕部門出前セミナー、Ｒ友紹介
9/16　早朝例会
9/23　休会
9/30　休会

出席率報告

委員長　平山　修

現　会　員　数	48名	出席免除会員数	2名
出席義務会員数	46名	本日の出席率	
欠　席　者　数	20名	56.52%	
出　席　者　数	26名		
免除会員出席数	0名	ZOOM(5)　会場(21)	

【出席委員会】　前年度委員長　富永啓太

2021-2022年度　出席率100%表彰１６名

３８回例会 ホームクラブ100%達成者２名
浦田繁喜　石蔵尚之

安達玄一　葉山稔洋　平田フク
井手富浩　伊久美早利　片岡啓一
加登住亮　北昌二郎　水野虎彦
永尾禎規　中川貴夫　延岡研一
新堀純子　竹長一幸

【ゴルフ愛好会】　運営委員会 水野虎彦

７月１０日(日) 球磨カントリー倶楽部

2021-2022年度
石蔵会長杯取切戦

優勝　石蔵尚之会員

皆様こんにちは、取切戦優勝をさせていただきました。一緒に回りました岩下会員には、何番ホールだったかちょっと覚えておりませんけどアプローチをする際に身を呈して私のボールを止めていただきまして、

背中痛かったかなと思っておりますが、もしあれがなければグリーンをこぼれて、あと４打５打だったのかもしれません。そうなると私の優勝はなかったということで、岩下会員は今日いらっしゃいませんが、心から感謝を申し上げます。

１年間コロナ禍の大変な時でございましたが、長崎の遠征も含めましてゴルフ愛好会の皆様には色々とご指導いただきました。おかげ様で36のハンディキャップ、１年間トータルすると36で妥当な数字なんですが、やはり公平平等のロータリー精神に反するというお叱りの声も上がってきそうなものですから、ハンディキャップ委員長にお任せいたしまして、1つ2つ下げていただいても構わないかなと思っております。
今年度も頑張ります。どうぞ宜しくお願いします。

会長賞は旅行券を用意させていただきました。準優勝の新堀純子会員へお渡しいたします。新堀会員おめでとうございます。

青木会長杯 第１戦　**優勝** **石蔵尚之会員**

７月ワンオンチャレンジ4,951円でした。
人吉RC奨学基金へ寄付いたします。

【プログラム委員会】

新 会 員 卓 話

丸尾　真也 会員
2022年６月２４日入会
職業分類；自動車販売
㈱丸尾ホンダ

まずは自己紹介を、昭和40年2月人吉生まれ。人吉高校、熊本商科大学を出て福岡のホンダのメーカー系の販売店に就職。平成3年に結婚とともに帰郷。当会での同級生は前会長の石蔵会員です。その他同級生での有名どころではウッチャンこと内村、参議員の松村、県会議員の松田がいまして、それら同級生と三九会という会を作っています。先日まで人吉球磨で撮影をしていました内村氏の映画にも協力しています。

職業分類は自動車販売。株式会社丸尾ホンダを営んでいます。屋号はホンダカーズ人吉　人吉インター店です。

現在カーディラーは、どこのメーカーもそうですが半導体不足やコロナによるロックダウンでのサプラヤーのストップ等で、新車の納期が半年～1年。車種によっては数年かかり、車を売っても売り上げが立たない、非常に厳しい環境でございます。約35年ホンダにたずさわり、また長年ホンダの販売店の社長をしてきたことで熊本県のホンダ販売店の連合会の会長と九州の理事を去年度まで3期6年してきました。その間、熊本地震、球磨川の災害等大変ではありましたが、役職上ホンダの社長、役員と懇親を持つ機会がありいろんな話を聞きました。そういうことで、卓話＝業界の話をいたします。

まずは、電動化のお話。車の進化のなかでセールスポイントは時代時代で移り変わってきました。現在のトレンドは安全装備。自動ブレーキ等運転支援機能です。それまでの80年代まではエンジンの馬力や90年代は燃費。それに環境問題による排気ガスのクリーン化。以前は大気汚染観点からの環境問題でしたが、それが地球温暖化対策のための炭素の削減へと環境問題が変化していきました。そしてそのために車の電動化とトレンドが変化していきました。

電動化というと電気自動車（EV）で電気だけで走る車と思われますが、EVはBEV（バッテリーEV）、HV（ハイブリッド）、PHV（プラグインハイブリッド）、FCV（燃料電池車）等の総称です。今後世界はBEVにシフトしていくといわれていますBEVは日本の自動車メーカーが得意としてきたエンジンが無く他業界からの参入が容易といわれています。ただバッテリーの性能や重さや耐久性、出力、次世代の電池（全個体電池）の開発等まだまだ進化の途中です。HVはエンジンとモーターで走行します。様々なタイプがあり日本が得意とする分野です。PEVはHVの進化系で外部から充電することが可能です。BEVと同じ充電設備必要となりまだまだコスト面での課題があります。FCVは水素を燃料にした究極のエコカーと言われいてますが水素のインフラや発電する燃料スタッグに希少金属を使うため高額となりまた耐久性もまだ無く市販には時間がかかるといわれています。

これら電動化には環境問題だけではなく、2000年代前半日本のHV勢対ヨーロッパのクリーンディゼル勢の主導権争いがありメーカーの生き残りのため合唱連呼、いわゆる世界1000万台クラブが叫ばれる中、ヨーロッパクリーンディゼル不正で日本が有利となりそこへ温暖化によるBEVへのトレンド変化をヨーロッパの国策のよる主導権の巻き返しのためうまく利用され、そこに市場へのクリーンエネルギー巨額投資やアメリカのベンチャー（テスラ等）台頭と現在の世界情勢による世界的半導体不足やエネルギー需給問題が複雑に絡み合い、今後トレンドや変化の速度が不透明な状況ですがBEVへの流れは変わらないといわれています。ただ現状東南アジアやアフリカなどの先進国以外では充電設備等のインフラ問題でBEVはまだまだ無理だと思われます。個人的には最新のEVはIT化により情報通信、いわゆるコネクティドにより素晴らしい次世代のサービスが味わえるようなってきまし

たが、非常時や災害時にEVは脆弱で特に水は大敵で浸かったらすぐ終わりです。球磨川の水害時思い知らされました。やはりシンプルで機械的な車は一定数必要です、特に昔の軽トラックなどは非常時に最強と思います。

あと自動運転のお話。現在、車の自動運転化が進歩しています。自動運転はレベル1～5の5段階で5が完全自動化（運転代行レベル）。現在、市販車ではホンダレジェンドがレベル3（高速渋滞時自動運転）で最高ですがあまりニーズが無いようです。現段階AIが車の影等死角に人がいたらカメラで危険と判断し車は止まってしまいます、人の行動までは予測できないからです。また事故が起きた時の責任の所在。いざという時どちらの命を優先するかの問題やいろんな法的問題もあり完全自動運転レベル5はまだまだ時間がかかると思います。現在は自動車専用道路での輸送に関してのトラックの集団走行ぐらいは可能といわれています。メーカーの直近の目標は運転支援で事故の起きない車を目指しているみたいです。業界のある偉い人が完全自動運転は自動車学校の路上検定の車みたいですよ乗りたいですか？と言われてました。やはり乗る喜び・操る喜び、快適な乗り物が車だと思います。まだまだライドシェアとか車のサブスクとかいろんな話がありますがつづきは飲み会で。

【寄付カード】

〈ニコニコ箱委員会〉

・石蔵会員

①前年度出席率100％の皆様おめでとうございます。

②取切戦ゴルフ新堀会員おめでとうございます。
皆さんと１年間楽しくプレーすることができました。ありがとうございます。

③青木年度ゴルフ１回目で優勝しました。今年も宜しくお願いします。

④丸尾会員、楽しい卓話ありがとうございました。

・新堀会員

①石蔵前会長思いがけずありがとうございました。
お土産買ってきます。

②丸尾会員、自動車業界の興味深い話ありがとうございました。

点 鐘　　青木一幸 会長